

いくつになっても、旅に出る理由がある――。



Disney · PIXAR

カールじいさんの 空飛ぶ家

12月全国ロードショー

一部劇場にて、ディズニー デジタル 3-D[®] 同時公開!

〈字幕スーパー版／日本語吹替版〉公式サイト: CARL-GSAN.jp

配給: ウォルト ディズニー スタジオ モーション ピクチャーズ ジャパン | オリジナル・サウンドトラック: ウォルト・ディズニー・レコード ©Disney/Pixar

「モンスターズ・インク」の監督、待望の最新作!

主人公は、

78歳の「カールじいさん」。

ガンコだけど、ロマンチスト。

コワモテだけど、どこかカワイイ。

そんなカールじいさんの、

人生、最初にして最後の旅。

誰でも夢を見るけど、

誰もやったことのない旅

それは、風船を結びつけた

「空飛ぶ家」。

じいさんだって、飛べるんです。



FESTIVAL DE CANNES
OPENING FILM

第62回カンヌ国際映画祭
オープニング作品

Disney · PIXAR

カールじいさんの 空飛ぶ家

「もしも風船につかまって、空高く飛ぶことができたなら」……子供時代に誰もが一度は抱いたことのある、夢あふれる楽しい空想。この想像のスケールをさらに大きく膨らませ、何万个の色鮮やかな風船を使って、家ごと浮かび上げてしまった、ひとりのじいさんがいます。亡き妻との約束を果たすため、「空飛ぶ家」に乗って旅立つ、78歳のカールじいさんの冒険を描いた、勇気と感動のファンタジー。その名は、「カールじいさんの空飛ぶ家」。

「モンスターズ・インク」、「ファインディング・ニモ」、そして「ウォーリー」と、これまで数多くの感動を作り出してきたディズニー・ピクサーから、初めて人間を主人公にした愛と感動の物語が誕生します。家を捨てて旅に出るのではなく、家とともに旅に出たカールじいさん。彼がそこまで「家」と「旅」にこだわったのには、ある理由があったのです…。愛すること、生きること、そして人生を楽しむことを教えてくれる奇跡のアニメーションが、この冬日本中を涙で包み込みます――。

毎日何かを諦めて、「きっと、いつかは…」と思っているあなたへ――。「人生、このままじゃ終われない!」



カール・フレドリクセンは78歳の孤独な老人。最愛の妻エリーに先立たれ、彼女の思い出がぎっしり詰まったマイホームで、ひとりで暮らしています。彼には「いつか叶えよう」と、子供時代にエリーと誓った夢がありました。それは、二人で素晴らしい冒険の旅に出ること……。

しかし、その夢は叶うことなく歳を重ね、愛するエリーを亡くし、住み慣れた我が家まで奪われそうになった時、カールは人生最初で最後の旅立ちを決意しました。彼に残された唯一の宝であるマイホームに無数の風船をつけ、いま、カールじいさんは家ごと空高く舞い上がります。空へ、妻と夢見た冒険の地を目指して――！

【字幕スーパー版/日本語吹替版】 同時上映 (短編作品) 「晴れときどきくもり」

監督:ピート・ドクター(「モンスターズ・インク」) 製作総指揮:ジョン・ラセター(「トイ・ストーリー」)、アンドリュー・スタントン(「ファインディング・ニモ」「ウォーリー」)
配給:ウォルト ディズニー スタジオ モーション ピクチャーズ ジャパン オリジナル・サウンドトラック:ウォルト・ディズニー・レコード ©Disney/Pixar

公式サイト: CARL-GSAN.jp



12月全国ロードショー!

映画盗撮は犯罪!
発見したら
www.eigakan.org
0120-550098